

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和2年2月18日 午後用

第71回獣医師国家試験 必須問題

注意事項

1. 問題数は50問、解答時間は50分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問51 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

51 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、
51 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 定期的に来院している犬の飼い主が怪我をしているスズメを保護して治療をしてほしいと来院。獣医師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 野生鳥獣は専門外のため追い返す。
2. 飼い主とは良好な関係が続けたいので法律の説明はせず治療を行う。
3. 面倒なので元の場所に戻すように指示する。
4. 人獣共通感染症に罹患している可能性も踏まえて衛生指導を行う。
5. 診察はせず以前飼い犬に処方した外用薬を塗布するよう伝える。

問2 手術を行う際に飼い主のインフォームド・コンセントを得る方法として最も適切なのはどれか。

1. 同じ手術で失敗したことはないと強調し合併症については説明しない。
2. 診断名と手術方法を告げるので自分で調べて判断するよう伝える。
3. 正確な表現をするため専門用語のみを用いて説明する。
4. 細かな説明はせずに同意書にサインをもらう。
5. 手術の必要性と危険性についてわかりやすく説明する。

問3 治療を続けていた猫を亡くした飼い主が、2週間経っても悲しい気持ちが続いてしまい悩んでいると来院。獣医師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 猫は寿命が短いから仕方がないとだけ伝える。
2. 猫のことは早々に忘れて次の動物を飼うように勧める。
3. とにかく我慢するしかないと諭す。
4. 共に暮らした動物の死を悲しむことは当然であると共感を示す。
5. 仕事が忙しいので別の人に聞いてもらうよう対応を拒否する。

問4 ある農場の繁殖検診に行った際、痩せて衰弱した牛を目にした。管理者に聞くと長期不受胎の牛が数日前から起立不能になったが、連休明けには廃用予定のため特に治療もせず放置しているとのこと。獣医師として最も適切な対応はどれか。

1. 牛を命あるものとして扱っていないことを頭ごなしに強く叱責する。
2. 管理者の同意を得ることなく輸液などの治療を実施する。
3. 起立不能になった牛は無視して繁殖検診のみを実施する。
4. 廃用予定であっても必要な治療をするように説得する。
5. 管理者に黙って安楽殺を行う。

問5 管理獣医師として養豚場を巡回した際に、最近になって使用禁止となった飼料添加物を含む飼料が保管されていた。管理者に聞いたところ「捨てるのはもったいないので、在庫分は使い切るつもりだ」と答えた。獣医師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 当該飼料の扱いは管理者に任せて何も指示しない。
2. なるべく早く使い切るように助言する。
3. 使用禁止の意味を説明し速やかに廃棄するよう指導する。
4. 使用すれば法令違反であると強く叱責する。
5. 子豚にのみ使用して出荷の近い肥育豚には与えないように注意を促す。

問6 A農家で病気の搾乳牛の治療として抗菌薬を投与した直後、急な難産の連絡が入り、乳の出荷停止を伝えずに別の農家に急行した。難産の処置終了後、A農家に連絡したところ、管理者は「すでに治療牛の乳は集乳車に集められたが大丈夫だろう」と答えた。獣医師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 管理者が大丈夫だと言うのでそのままにする。
2. 1農家であれば抗菌薬の検査は陰性になると考えて何もしない。
3. 管理者には知らせず集乳者に直接連絡する。
4. 生乳廃棄で損失を被るのは農家なので関係ないと判断する。
5. 管理者に謝罪して集乳者に出荷中止の連絡をするよう依頼する。

問7 家畜保健衛生所の役割について誤っているのはどれか。

1. 家畜の伝染性疾病の予防に関する助言
2. 食鳥処理場における食鳥の検査
3. 家畜人工授精の実施に関する事務
4. 飼養衛生管理基準に関する畜産農家の指導
5. 特定の月齢以上で死亡した牛の伝達性海綿状脳症の検査

問8 我が国の牛トレーサビリティ制度が成立するきっかけとなった感染症はどれか。

1. 伝達性海綿状脳症
2. 口蹄疫
3. ヨーネ病
4. 牛疫
5. 牛白血病

問9 「家畜伝染病予防法」において家畜伝染病に指定されていないのはどれか。

1. 炭疽
2. 小反芻獣疫
3. アフリカ馬疫
4. 家きんコレラ
5. 豚流行性下痢

問10 「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」で対象となっている動物
でないのはどれか。

1. 鹿
2. 牛
3. 鶏
4. 犬
5. 豚

問11 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に規定されているのはどれか。

1. 動物用医薬品を法律で規定する対象動物に使用する場合の基準
2. 獣医師が狂犬病予防員からの狂犬病予防の協力依頼に応じる義務
3. 獣医師が法律に定められている疾病を診断した場合の届出義務
4. 食品中の農薬、飼料添加物及び動物用医薬品の残留規制に関する規定
5. 獣医師又は診療施設の業務に関する広告の制限

問12 「獣医師法」により獣医師に交付義務がある書類として誤っているのはどれか。

1. 出生証明書
2. 診断書
3. 指示書
4. 死産証明書
5. 検案書

問13 狂犬病の汚染国に生まれてそのまま飼っている猫を日本に輸入する場合の処置、検査として誤っているのはどれか。

1. マイクロチップの埋入
2. 必要回数の狂犬病ワクチンの接種
3. 農林水産大臣が指定する施設での狂犬病ワクチンの抗体価検査
4. 抗体価の検査のための採血をした日から輸出国での 180 日間待機
5. 日本到着時の厚生労働省による検査

問14 飼育動物の生活環境における「5つの自由」の概念にあてはまる対応として誤っているのはどれか。

1. 食べ物や飲み物を欲しがらだけ食べさせること
2. 怪我をしたら治療を受けさせること
3. 精神的な苦痛を取り除くこと
4. 清潔な場所で飼育すること
5. 習性に合った行動がとれるように工夫すること

問15 「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律」で対象となっている動物に含まれるのはどれか。

1. 猫
2. フェレット
3. 豚
4. カメ
5. ニシキゴイ

問16 「獣医師法」に規定される項目で誤っているのはどれか。

1. 診療した場合に診療簿に記載しなければならない。
2. 自ら診察しないで診断書を交付してはならない。
3. 獣医師でなければウサギの診療を業としてはならない。
4. 診療を業務とする獣医師は正当な理由がなければ診療を拒んではならない。
5. 2年ごとに氏名などの必要事項を届出なければならない。

問17 距と呼ばれる掌球または足底球の痕跡的構造がみられる動物はどれか。

1. 牛
2. 馬
3. 犬
4. 猫
5. 豚

問18 哺乳類家畜の縦隔の中に含まれていないのはどれか。

1. 心臓
2. 胸管
3. 前大静脈
4. 迷走神経
5. 肺

問19 牛で排卵を引き起こすホルモンはどれか。

1. GH
2. LH
3. プロラクチン
4. プロジェステロン
5. FSH

問20 腎臓でアルドステロンの作用により Na^+ が再吸収される部位はどれか。

1. 糸球体
2. 近位尿細管
3. ヘンレループの下行脚
4. ヘンレループの上行脚
5. 集合管

問21 DNA の 塩基でないのはどれか。

1. チミン
2. アデニン
3. シトシン
4. ウラシル
5. グアニン

問22 硫黄原子（S）を含む側鎖をもつアミノ酸はどれか。

1. ロイシン
2. セリン
3. アスパラギン
4. メチオニン
5. グルタミン酸

問23 血液凝固抑制薬（抗凝固薬）はどれか。

1. トロンビン
2. エリスロポエチン
3. ワルファリン
4. フィトナジオン
5. トラネキサム酸

問24 投与した薬が全身循環血液中に到達した割合を示すパラメーターはどれか。

1. 治療係数
2. 全身クリアランス
3. 消失半減期
4. バイオアベイラビリティ（生物学的利用率）
5. 分布容積

問25 悪性中皮腫を引き起こす物質として適当なのはどれか。

1. アスベスト
2. パラコート
3. カドミウム
4. アフラトキシン B₁
5. 鉛

問26 脂質の検出に用いられる組織染色法として適切なのはどれか。

1. グリメリウス法
2. トルイジン青染色
3. マッソン・トリクローム染色
4. コンゴ赤染色
5. ズダンⅢ染色

問27 アステロイド体（棍棒体集落）の形成が特徴的な疾患はどれか。

1. 放線菌症
2. ブルセラ症
3. 仮性結核
4. ヨーネ病
5. 鼻疽

問28 1本鎖DNAウイルスはどれか。

1. パピローマウイルス
2. パルボウイルス
3. アデノウイルス
4. アスファウイルス
5. ポックスウイルス

問29 垂直伝播による感染はどれか。

1. 飛沫感染
2. 介卵感染
3. 媒介昆虫による感染
4. 日和見感染
5. 交尾感染

問30 ニドウイルス目に属するウイルス科はどれか。

1. ラブドウイルス
2. アレナウイルス
3. コロナウイルス
4. ビルナウイルス
5. アデノウイルス

問31 すべての細菌が持つのはどれか。

1. 線毛
2. べん毛
3. 核膜
4. 莢膜
5. リボソーム

問32 オーシスト内にスポロシストを形成しないのはどれか。

1. *Eimeria stiedae* (*Eimeria stiedai*)
2. *Cystoisospora* (*Isospora*) *canis*
3. *Cryptosporidium parvum*
4. *Toxoplasma gondii*
5. *Sarcocystis cruzi*

問33 卵胎生のものはどれか。

1. 牛肺虫 (*Dictyocaulus viviparus*)
2. 糞線虫 (*Strongyloides stercoralis*)
3. 東洋眼虫 (*Thelazia callipaeda*)
4. 広東住血線虫 (*Angiostrongylus cantonensis*)
5. 旋毛虫 (*Trichinella spiralis*)

問34 温室効果ガスのうち我が国で年間排出量が最も多いのはどれか。

1. 二酸化炭素
2. メタン
3. ハイドロフルオロカーボン類
4. 六フッ化硫黄
5. 一酸化二窒素

問35 蚊が媒介する人獣共通感染症はどれか。

1. 発疹チフス
2. リフトバレー熱
3. Q熱
4. ライム病
5. ペスト

問36 HACCPの7原則に含まれないのはどれか。

1. フローダイアグラムの作成
2. 危害要因分析の実施
3. 必須管理点（CCP）の決定
4. 許容限界（管理基準）の確立
5. 検証方式の設定

問37 我が国で野生動物を対象にワクチンが使用されている感染症はどれか。

1. 高病原性鳥インフルエンザ
2. 狂犬病
3. 豚コレラ（CSF）
4. 口蹄疫
5. オーエスキー病

問38 調査対象集団を特徴が異なるグループに分けた後、各グループから無作為抽出する標本抽出法はどれか。

1. 系統無作為抽出法
2. 単純無作為抽出法
3. 多段階無作為抽出法
4. 層化無作為抽出法
5. 集落無作為抽出法

問39 良性腫瘍の特徴に関する記述として適切なのはどれか。

1. リンパ行性に転移しやすい。
2. 血行性に転移しやすい。
3. 境界明瞭で被膜を有する。
4. 周囲組織への浸潤性が高い。
5. 全身への影響が大きい。

問40 チアノーゼが示唆する病態はどれか。

1. 貧血
2. 低血圧
3. 低栄養
4. 低体温
5. 低酸素

問41 欠乏により乳熱の原因となるのはどれか。

1. カリウム
2. クロール
3. ナトリウム
4. カルシウム
5. グルコース

問42 X線不透過性が最も高い臓器はどれか。

1. 肺
2. 心臓
3. 骨
4. 脂肪
5. 肝臓

問43 放射線の晩発性障害はどれか。

1. 発癌
2. 皮膚の紅斑
3. 白血球減少
4. 下痢
5. 脱毛

問44 ミニチュア・ダックスフンドを飼育している飼い主から、チャイムや物音に反応して吠えて困ると訴えがあった。獣医師の対応として適切でないのはどれか。

1. 吠えやすい犬種であり正常な行動であるため我慢するよう伝える。
2. 犬の行動について専門外であるため専門獣医師を紹介する。
3. 訪問診療など普段の行動を見せてもらうことを提案する。
4. 基礎疾患が原因となる場合もあるため健康診断を勧める。
5. 吠える状況を詳しく聞いて一緒に解決策を考える。

問45 創傷治癒の阻害要因として適当でないのはどれか。

1. 壊死組織
2. 豊富な血流
3. 漿液腫
4. 細菌感染
5. 異物

問46 犬でキャスト（ギプス包帯）固定が適応となる骨折部位はどれか。

1. 肋骨
2. 頭蓋骨
3. 腸骨
4. 脛骨骨幹部
5. 肩甲骨

問47 牛の妊娠期間として適当なのはどれか。

1. 63日
2. 114日
3. 150日
4. 280日
5. 335日

問48 雌牛で発情期だけに見られる行動はどれか。

1. 咆哮
2. フレーメン
3. ライトニング
4. 乗駕行動（マウンティング）
5. 被乗駕行動（スタンディング）

問49 実験動物に加わる物理的ストレスはどれか。

1. 温熱
2. 闘争
3. 感染
4. 薬物
5. 炎症

問50 魚類の鱗（うろこ）が存在する場所はどれか。

1. 表皮層
2. 真皮層
3. 皮下組織
4. 筋肉
5. クチクラ層

